

令和元年度放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和2年2月17日

事業所名：育ちの広場すてっぴ

保護者等数（児童数）30 回収数28 割合 93%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	68%	18%	0%	14%	工夫して活用されている その日の人数による
	2 職員の配置数や専門性は適切である	75%	0%	0%	25%	職員の詳細を知らされていない。
	3 事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー配慮がなされている	68%	0%	0%	32%	玄関扉に指がはさまる危険がある 洗面台が車いす用ではない。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されている	96%	4%	0%	0%	わが子に今必要な事を具体的に示して欲しい 家庭の課題も教えて
	5 活動プログラム*が固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%	
	6 障害のない子どもと活動する機会を設けている	25%	7%	4%	64%	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされている	96%	0%	0%	4%	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができている	93%	4%	0%	4%	連絡帳のみで終わりがち
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	96%	4%	0%	0%	困ったとき相談に応じてもらえて感謝 制度も教えてもらえてありがたい
	10 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	68%	4%	0%	29%	
	11 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	96%	0%	0%	4%	
	12 定期的に会報やホームページ等で、活動や業務の情報を子どもや保護者に発信している	93%	0%	0%	7%	通信は楽しみにして見ている HPは勉強になる HP見ていない
	13 個人情報保護に十分注意している	82%	4%	0%	14%	
非常 時等 の 対応	14 緊急時等の対応マニュアルを保護者に周知・説明している	54%	14%	11%	21%	
	15 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	25%	4%	0%	71%	全ての曜日で訓練する必要がある
満足 度	16 子どもは通所を楽しみにしている	89%	7%	0%	4%	とても楽しみにしている 欠席になると落ち込んでいる 友達の相性にもよる
	17 事業所の支援に満足している	96%	4%	0%	0%	寄り添ってもらえ温かみを感じる

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和元年度放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和2年2月17日

回収数：正規4非常勤5

事業所名：育ちの広場すてっぴ

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	56%	22%	22%	活動スペースは56.96㎡あり、設置基準を満たしている。	10名を超えると年齢や障害の違いで運営が難しくなるので新事業所を計画中
	2 職員の配置数は適切である	89%	11%	0%	基準に適した人数をを配置、教員などの有資格者も複数配置。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	78%	22%	0%	基準を満たしている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	78%	11%	11%	毎日、振り返り、評価を行っている。	
	5 アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	78%	22%	0%	少しずつ改善している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	78%	22%	0%	HP等で公開。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	33%	33%	外部評価は未実施。	第3者評価委員を選定して評価してもらう
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	44%	33%	22%	内部研修は行うが、外部研修会に参加できない。	第4土曜を休所日にして外部研修に出られるよう正規シフト勤務に取り組む
適切な支援の提供	9 子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で、個別支援計画を作成している	89%	11%	0%	サービス利用計画と当事者ニーズに沿って支援計画を作成。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	67%	22%	11%	入会時・必要時に検査実施の合意が必要。	重要説明事項にアセスメント委の了解項目を加える。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	89%	11%	0%		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	89%	11%	0%	創作活動、調理活動、野外活動等を適時組み込む。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	0%	療育プログラムを午前と午後に1コマずつ企画。	
	14 子どもに応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	89%	11%	0%		
	15 職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	合議したタイムスケジュールを作成。	
	16 職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	78%	22%	0%	翌日打合せで実施。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	78%	22%	0%	翌日の打合せで課題共有して記録。	
	18 定期的に事後評価を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	67%	33%	0%	モニタリング時に見直しを行う。	非常勤の方にも評価文書を回議する。
19 療育・創作・交流・余暇支援の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100%	0%	0%			

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に最もふさわしい者が参画している	78%	22%	0%	管理職が参加。	
	21	学校との情報共有、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	56%	44%	0%	送迎現場で送り実施。	学校連携の中身など日報の備考に加える
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	33%	67%	0%	医療的ケア該当児童なし。	
	23	就学前に利用していた事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	44%	56%	0%	双方に時間的余裕がなく定期開催は困難。	相談事業所に問題提起する。
	24	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、情報を提供している	67%	33%	0%	双方に時間的余裕がなく定期開催は困難。	相談事業所に問題提起する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関の助言や研修を受けている	44%	33%	22%		放デイに必要な中身を発信してもらえるように要望していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない地域の子とも活動する機会がある	78%	22%	0%	公園で地域の小学生と遊ぶことはよくある	今のような公園でのナチュラルな交流でよいと考える。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	44%	33%	22%	時間的余裕がない。	
	28	日常的に保護者と子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っている	89%	11%	0%	連絡帳や送迎時に報告。	
	29	子育て支援として、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	33%	44%	22%	契約時に合意が必要。	時間的にも資金的にも保護者との合意や契約が必要なので検討を行う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	78%	11%	11%	運営内容や負担等については契約時に説明。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	89%	0%	11%	できる限り電話・来所・訪問の支援を行っている。	
	32	子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応している	89%	11%	0%	苦情に対する対応体制は準備している。	
	33	定期的に会報等を発行し、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	89%	11%	0%	定期通信・HP毎日発信を実施。	
	34	個人情報に十分注意している	89%	11%	0%		
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	67%	33%	0%		
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	33%	67%	理解啓蒙に刊行物などの配布を行う予定。	
非常時等の対応	37	緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	44%	33%	22%	マニュアルは作成している。	マニュアルや訓練実施内容を会報などで公開していく。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	22%	33%	44%	訓練を実施する予定	令和2年3月までに実施。その後毎年2回実施を行う。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	44%	33%	22%	虐待防止にコミュニケーション支援重視	
	40	身体拘束について、保護者に事前に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	40%	40%	20%	該当者はいない。	
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	33%	67%	0%	該当者なし	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	44%	33%	22%	ヒヤリハット・事故報告を共有している	回議による文書共有を行う。